

私たちの生活に欠かすことのできない「あかり」……

身の回りにはたくさんの照明が存在する。

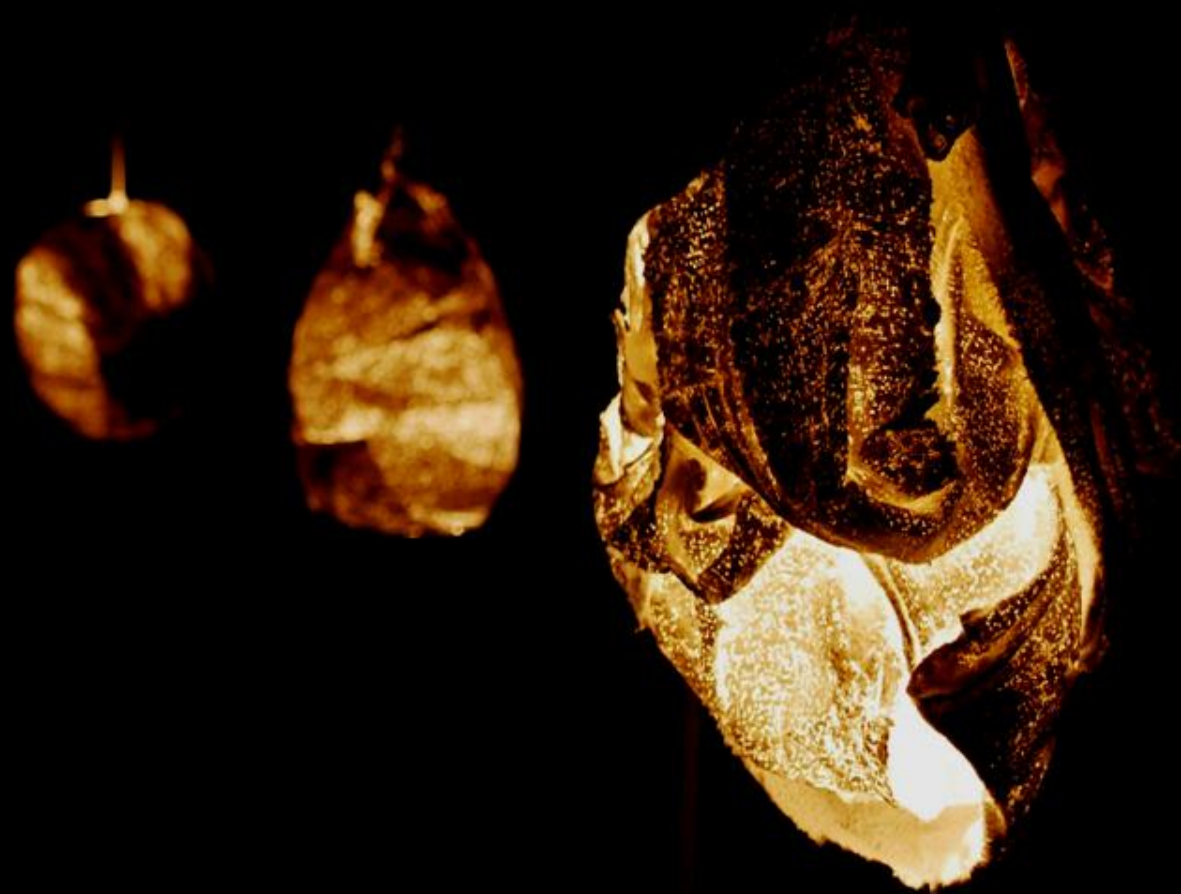
そんな、身の回りの「ふつう」の照明たちに、ちょっとした工夫を加えることで

何か特別な空間が生まれるのではないか

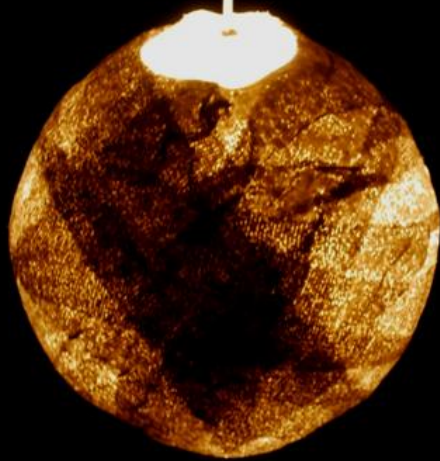
「あかり」を包み込むものに着目してみた。

G y p s L i g h t

～石膏ギブスを用いた「あかり」の提案～



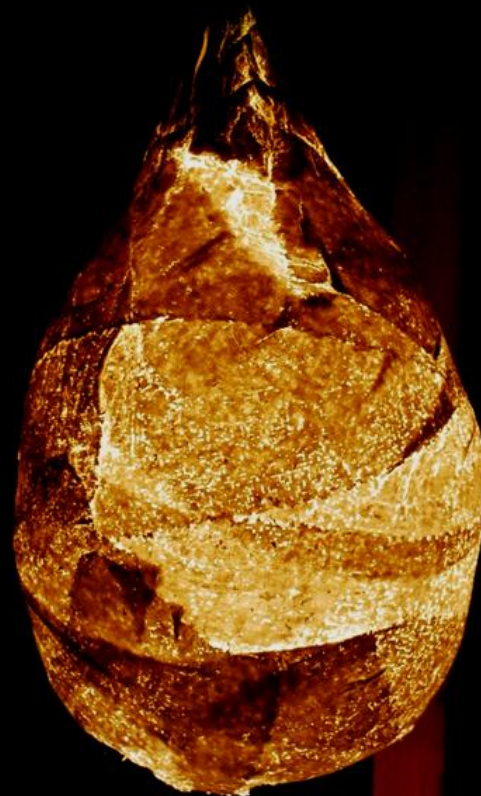
石膏ギブスを使用した「あかり」の提案。
石膏ギブスは焼き石膏粉末と綿布からできており、それを水に浸すことで
水和反応により凝固する。 $(\text{CaSO}_4 \cdot 1/2\text{H}_2\text{O} + 3/2\text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{CaSO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O})$



manmaru

そのため「あかり」内部の構造体は一切なく、
表面の綿布だけで形を保っている。

内部の電球は一般的なものだが綿布の隙間
から漏れた光は微妙なグラデーション
を作り出す。



shizuku

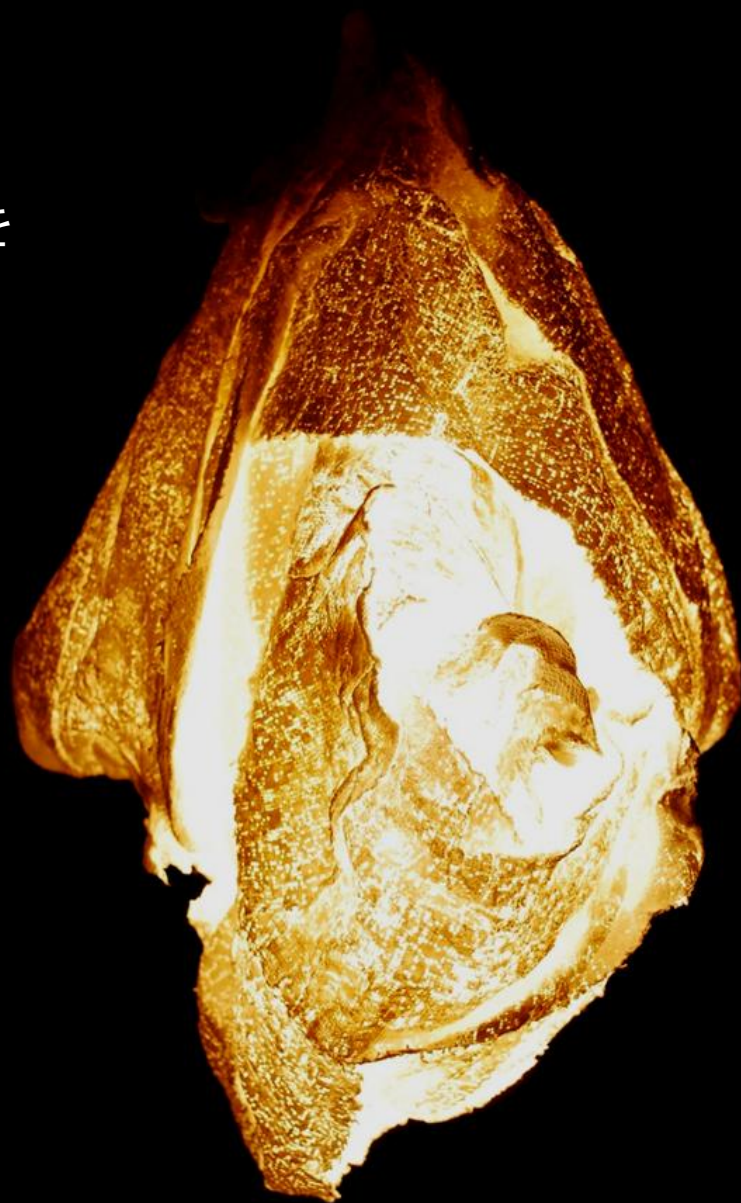
sizuku には下部に穴があけてあるため
テーブルなどを照らすことができる



Shizuku

kusya cusyaの特徴はこの形にある。
ティッシュペーパーや紙をくしゃくしゃと丸めた形を
イメージして制作した。

石膏ギブスだからこそできる形態である。
綿布の隙間から光が漏れだし、その微妙な
グラデーションは「あかり」自体が
生きているかのように思わせる。



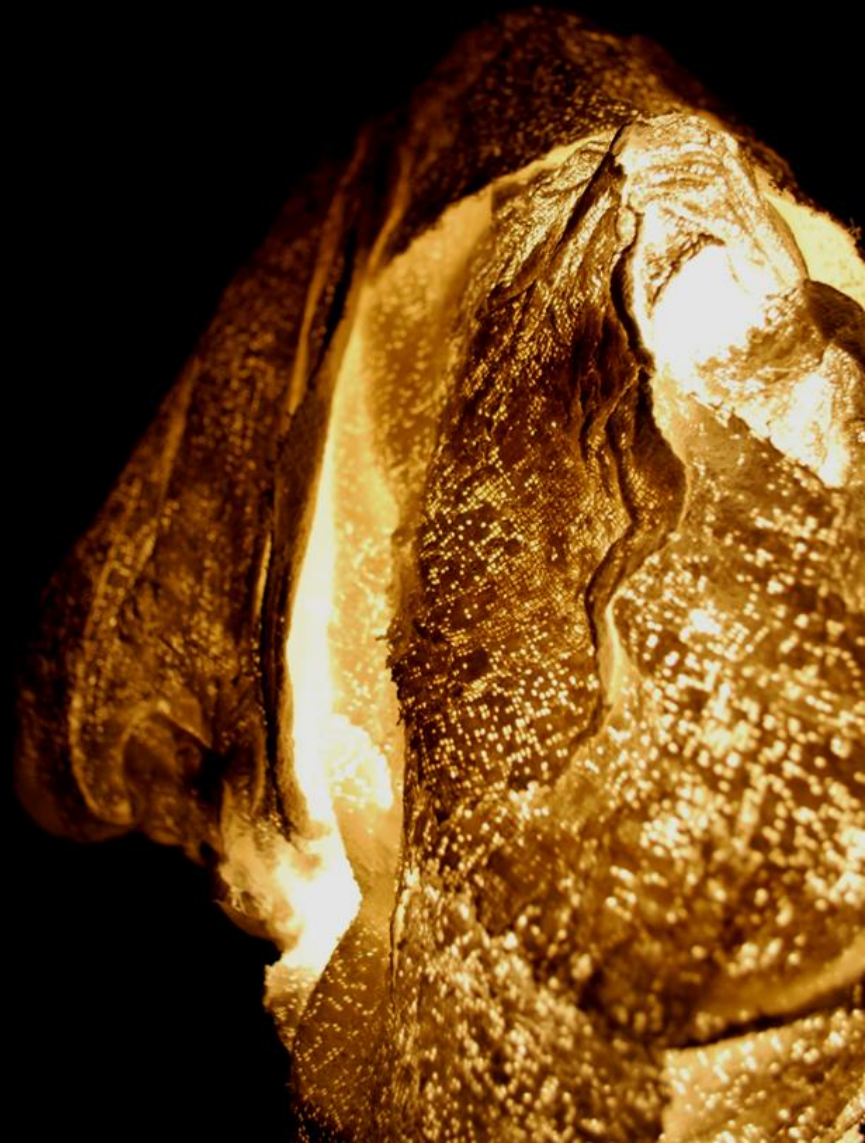
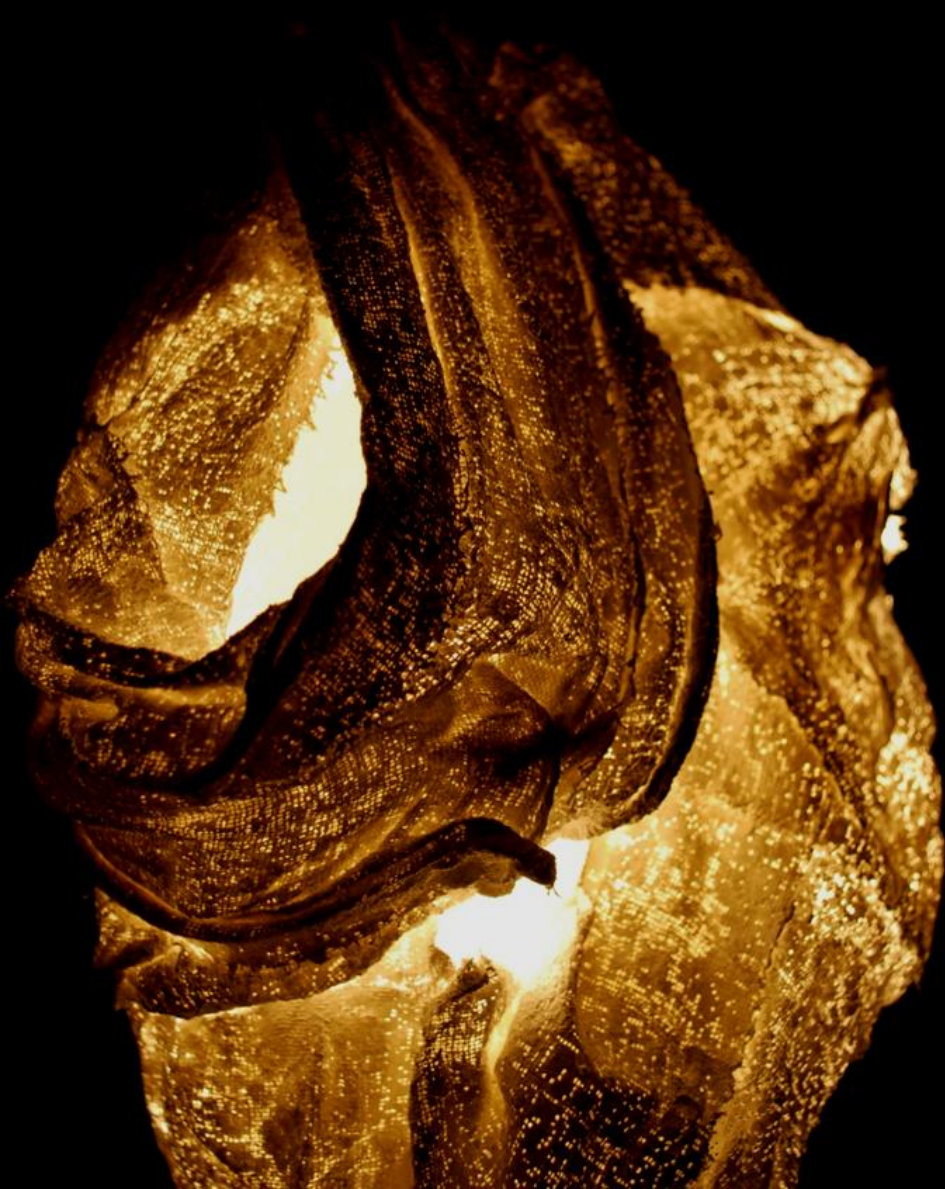
Kusya cusya

360度異なる表情を見せる



Kusha cusha

Kusha cusha



近くで見ると格子状の穴が見える

